土　質　柱　状　図　（No.1）

調査名　千葉市立泉谷中学校増築地質調査業務委託

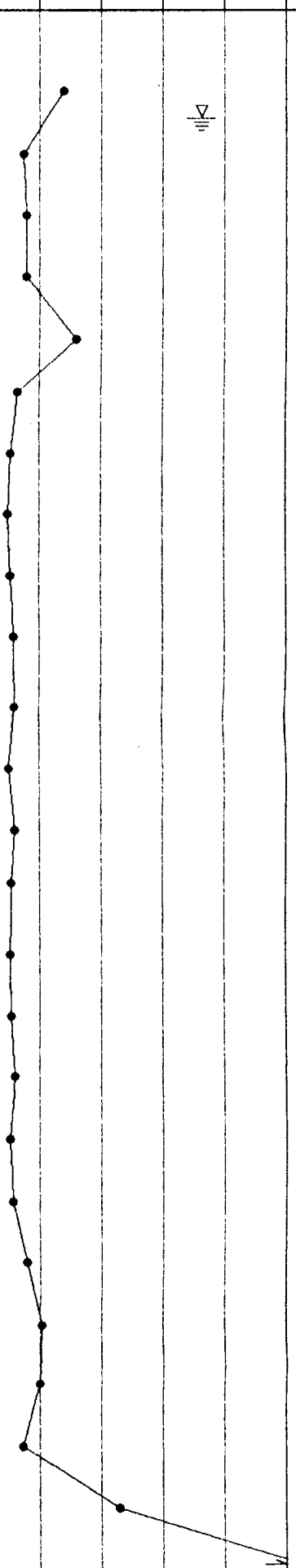
調査地　千葉市椎名町８９９番地　　調査年月日　平成　元年4月22日～　年　月　日

標　高　0.016 m　　孔内水位　GL -1.75 m　　技術者

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察
					黄褐		1．90mまで粘土質細砂 上部砕石あり。 有機質粘土混じる。 含水中。
					暗緑灰		2．60mまで暗茶褐の粘度質細砂。 4．60mまで砂質粘土。 粘性大。 小円礫若干混入。
					黒褐		5．90mまで粘土混じり細砂。 含水中～大。 微細砂を互層状に呈す。
					暗灰		5．90m以深砂混じり粘土。 含水中～大。 半固結状粘土と凝灰質粘土の互層状を呈す。
							9m付近より小礫点入。 9．80mより砂分多くなる。 10．40mより木片、半固結粘土小量混じる。
-12.68	12.70	12.70			暗褐	盛　土	
-13.78	13.80	1.10			暗灰	粘土質細砂	含水中～大。 処どころ酸化帯を挟む。
-17.08	17.10	3.30			暗褐	有機質粘性土	粘性中。 全体に砂分含む。 小量の雲母片混入。 13m付近よりシルトと互層状を呈す。 下部砂分混入。
-18.38	18.40	1.30				シルト質細砂	含水中。 腐植土をブロック状に混入 下部微細砂を含む。
-20.28	20.30	1.90				有機質粘性土	含水中。粘性中。 全体に微細砂を混入。 雲母片混入。
-24.28	24.30	4.00				シルト質細砂	含水中。 腐植物をブロック状に混入 22．60m付近より腐植土を薄層で挟む。 小礫混入。
-30.30	30.32	6.02				細　砂	含水中～大。 黄褐の砂質粘土をブロック状に混入。 貝殻片多量混入。 若干の中砂混入。 27m付近より固結状のシルトを含み、砂粒やや細かくなる。 27．70m付近より貝殻減小。

標準貫入試験

原位置試験深度 m	深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
○	1.15	14	3	4	7
○	1.45 2.15	8 32	2	2	4 12
○	2.47 3.15	8	2	3	3
	3.45 4.15	8	2	3	3
○	4.45 5.15	16	4	6	6
○	5.45 6.00	7 32	2	2	3 12
○	6.32 7.00	6 33	2 14	1 6	3 13
	7.33 8.00	5 31	2 13	2 13	1 5
○	8.31 9.00	6 33	2 14	1 7	3 12
	9.33 10.00	6 31	2	2 11	2
○	10.31 11.15	6	2	2	2
	11.45 12.15	5	1 11	2 9	2
○	12.45 13.15	6	2	2	2
○	13.45 14.00	6 33	2 11	2	2 12
○	14.33 15.15	6 34	2	2 12	2 12
○	15.49 16.15	6 33	2	2 11	2 12
○	16.48 17.15	6	2	2	2
○	17.45 18.15	6 34	2 11	2 11	2 12
○	18.49 19.15	6 32	2	2 12	2
	19.47 20.15	8	2 11	3	3 9
	20.45 21.15	11 32	5	3 11	3 11
○	21.47 22.15	10	3	4	3
	22.45 23.15	8 33	2	2	4 13
○	23.48 24.15	23	3	7	13
	24.45 25.15	50 12	40	10 2	
○	25.27 26.15	50 10	50		
	26.25 27.15	50 9	50 9		
○	27.24 28.15	50 18	23	27 8	
	28.33 29.15	50 17	26	24 7	
○	29.32 30.15	50 17	25	25 7	
	30.32				



試料

採取方法 乱さない試料	採取方法 乱した試料	採取深度 m

土　質　柱　状　図　（No.2）

調査名　千葉市立泉谷中学校増築地質調査業務委託

調査地　千葉市椎名町８９９番地　　調査年月日　平成　元年4月24日～元年4月25日

標　高　0.229 m　　孔内水位　GL -1.70 m　　技術者

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察
					暗灰褐		1．60mまで粘土質細砂 上部礫混入。 下部細砂主体。
					暗灰褐		2．60mまでローム質粘土、粘土質細砂と互層状を呈す。
					暗灰褐		2．80m付近木片混入。 3．80mまでシルト質細砂。
					暗灰褐		6．70mまで砂質粘土。 腐植土を薄く挟む。
							砕石混入。 砂を互層状に挟む。
					暗灰褐		
							7．60mより全体に粘土分やや多くなる。 8．85mまで粘土質細砂 処どころ固結部分あり。 8．85m以深砂質粘土。
					暗灰褐		全体に砂分混入。 若干の礫点在。
-9.97	10.20	10.20			暗灰褐	盛　土	
-10.57	10.80	0.60			暗緑灰	粘土混り細砂	含水大。粘土薄層で挟む。
-11.82	12.05	1.25			暗灰	腐植土質シルト	含水中。粘性大。 腐植土を薄層で挟在。 全体に砂分混入。
-14.27	14.50	2.45			灰褐	砂質粘土	含水中。 粘性大。 処どころ酸化する。 全体に半固結状を呈する。
-15.97	16.20	1.70			暗緑灰	シルト質細砂	含水大。 シルト質微細砂を互層状に呈す。 細砂をブロック状に混入。
-17.07	17.30	1.10			茶褐	粘土質微細砂	含水大。 処どころ酸化する。
-19.27	19.50	2.20			暗灰	砂質シルト	含水中～大。 全体に微細砂を含む。 半固結状部分不規則に挟む
-21.42	21.65	2.15			暗灰	砂混りシルト	含水中。粘性大。 貝殻片多量混入。 小量の腐植物混入。
-22.02	22.25	0.60			暗灰	シルト混り細砂	含水中。腐植物混入。
-22.87	23.10	0.85			暗褐	有機質粘性土	含水中。粘性中。 細砂を不規則に挟む。
							25．50m付近より多量の貝殻片混入。 含水大。 半固結状粘土をブロック状に挟む。 全体に中砂分混入。
							27．70mより微細砂を含む。 全体に砂粒やや細かくなる
-30.08	30.31	7.21			暗灰褐	細　砂	

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15	13	2	4	7
1.45				
3.15	4	1	2	1
			13	7
3.45				
4.15	3	1	1	1
4.45				
5.15	4	1	2	1
5.45				
6.15	5	1	2	2
	34		12	12
6.49				
7.15	8	1	3	4
7.45				
8.15	9	3	3	3
8.45				
9.15	6	2	2	2
	32		11	11
9.47				
10.15	5	2	1	2
		12	8	
10.45				
11.15	5	1	2	2
	32	11		11
11.47				
12.15	4	2	1	1
	31	12	9	
12.46				
14.15	8	3	3	2
14.45				
15.15	10	3	4	3
15.45				
16.15	11	3	3	5
16.45				
17.15	6	2	2	2
	31	11		
17.46				
18.15	5	2	2	1
	31	12	13	6
18.46				
19.15	6	2	2	2
	31	11		
19.46				
20.15	6	2	2	2
	34		12	12
20.49				
21.15	7	2	2	3
	33	11		12
21.48				
22.15	17	4	6	7
22.45				
23.15	34	6	12	16
23.45				
24.15	50	18	32	
	20			
24.35				
25.15	50	28	22	
	18		8	
25.33				
26.15	50	30	20	
	16		6	
26.31				
27.15	50	35	15	
	14		4	
27.29				
28.15	50	50		
	5	5		
28.20				
29.15	50	29	21	
	17		7	
29.32				
30.15	50	25	25	
	16		6	
30.31				

試料

採取方法 乱さない試料	乱した試料	採取深度 m
		2.00
T-1		2.70
		13.00
T-2		13.70

土　質　柱　状　図　（No.3）

調査名　千葉市立泉谷中学校増築地質調査業務委託

調査地　千葉市椎名町８９９番地

調査年月日　平成　元年4月20日～元年4月21日

標　高　H　0.229 m

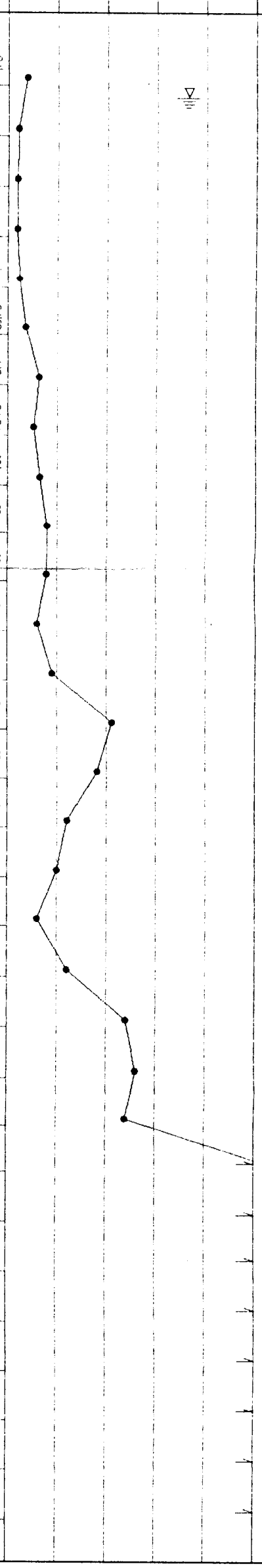
孔内水位　GL -1.70 m

技術者

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察
	-4.07	4.30	4.30		茶褐 茶褐 暗褐	盛　土	0.50m付近より腐植物若干混入。 2.40mまで砂質粘土。 上部砕石等混入。 3.80mまでローム粘土砂分多量混入。粘性大。 3.80m以深有機土細砂を、不規則に挟む。
	-5.82	6.05	1.75		暗緑灰	粘土質細砂	含水大。 木片混入。 腐植物薄層で挟在。
	-7.47	7.70	1.65		暗緑灰	粘土質細砂	含水小～中。 酸化物点在。 6.60m以深半固結状を呈す。
	-13.22	13.45	5.75		暗灰	砂質シルト	含水中。 粘性中。 砂をブロック状に混入。 腐植物及び雲母片混入。 10m付近より砂分混入し、貝殻片混じる。 12m付近より砂分減小し、腐植物多くなる。 13.0m付近より半固結状を呈す。
	-14.37	14.60	1.15		暗灰褐	砂質粘土	粘性中。 雲母片混入。
	-15.97	16.20	1.60		暗灰褐	粘土質細砂	含水中。 粘土質細砂を不規則に挟む半固結状を呈す処あり。
	-17.27	17.50	1.30		暗緑灰	シルト質微細砂	含水中。貝殻片混入。 砂をブロック状で混入。
	-19.02	19.25	1.75		暗灰	砂質シルト	含水中。粘性小。 貝殻片混入。 雲母片混入。
	-21.17	21.40	2.15		暗灰	シルト質細砂	含水中。 小量の貝殻片混入。 雲母片混入。
	-22.37	22.60	1.20		暗灰	シルト混り砂	含水中。 腐植物若干混入。
	-26.17	26.40	3.80		暗灰	細　砂	含水中。 シルト及び中砂を薄層で挟在。 若干の腐植物挟在。 24.50m付近より粒子細かくなる。
	-30.11	30.34	3.94		暗灰褐	細　砂	含水中。 若干の粘土不規則に混じる。 28.40mより粘土を不規則に挟むところあり。 貝殻片混入。

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15	4/31	1	1	2/11
1.46				
2.15	2	1/15	1/15	
2.45				
3.15	2/31	1/16	1/15	
3.46				
4.15	2/32	1/16	1/16	
4.47				
5.15	3/37	1/14	1/12	1/11
5.52				
6.15	4/33	1	1	2/13
6.48				
7.15	7/33	1	2/11	4/12
7.48				
8.15	6/34	2	2/12	2/12
8.49				
9.15	7/32	2/11	2	3/11
9.47				
10.15	8	3	2	3
10.45				
11.15	8	2	3	3
11.45				
12.15	6	2	2	2
12.45				
13.15	9	2	3	4
13.45				
14.15	21	4	5	12
14.45				
15.15	18	5	5	8
15.45				
16.15	12	3	4	5
16.45				
17.15	10	3	3	4
17.45				
18.15	6	2	2	2
18.45				
19.15	12	2	4	6
19.45				
20.15	24	6	7	11
20.45				
21.15	26	6	8	12
21.45				
22.15	24	6	8	10
22.45				
23.15	50/17	15	35/7	
23.32				
24.15	50/21	18	28	4/1
24.36				
25.15	50/6	50/6		
25.21				
26.15	50/6	50/6		
26.21				
27.15	50/8	50/8		
27.23				
28.15	50/10	50/10		
28.25				
29.15	50/15	30	20/5	
29.30				
30.15	50/19	18	32/9	
30.34				



試料

採取方法 乱さない試料	採取方法 乱した試料	採取深度 m

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立泉谷中学校他1校エレベータ設置地質調査業務委託

ボーリング№

事業・工事名

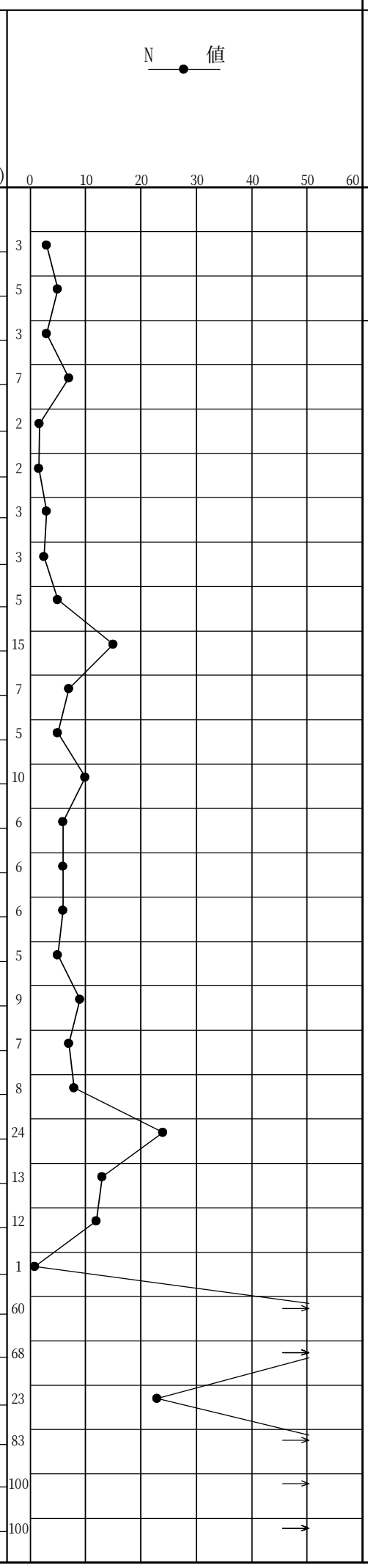
シート№

ボーリング名	泉谷中学校 No.1	調査位置	千葉市緑区おゆみ野中央4丁目2番地			北緯	35° 33' 18.3"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 19年 5月 18日 ～ 19年 5月 21日	東経	140° 10' 22.4"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.07m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 YBM 05DA2	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	30.30m								エンジン YANMAR NF9	ポンプ KANO V6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土（粘土混じり細砂）	茶褐			含水量中位 粒子不均一である 0.40m付近まで人工物（コンクリート片等）を混入する ロームを塊状に混入する	5/18 1.85
2	-2.47	2.40	2.40							
3					盛土（細砂）	褐灰			含水量多い 粒子不均一である ブロック状に酸化している	
4	-4.87	2.40	4.80							
5	-5.47	0.60	5.40		盛土（粘土混じり細砂）	暗緑褐			含水量非常に多い 粒子不均一である 有機質粘土、ロームをブロック状に混入する 色調安定せず	
6	-6.57	1.10	6.50							
7					盛土（粘土混じり細砂）	褐灰			含水量非常に多い 粒子不均一である 粘土を不規則及び5cm内外の帯状に混入する 植物根を混入する 色調安定せず	
8										
9					盛土（砂混じりローム）	茶褐			粘性強い 砂分を不規則に混入する 凝灰質粘土を不規則に混入する 8.00m付近より色調暗色濃くなる 有機質粘土を5cm内外の帯状に混入する 砂分の混入減少する 10.10～10.30m細砂を挟む	
10										
11										
12	-12.97	6.40	12.90							
13					細砂	暗灰	緩い		含水量中位 粒子不均一である	
14	-14.57	1.60	14.50							
15					有機質シルト	暗茶		中位の	粘性中位 不均質である 全体に砂質である やや繊維質である 16.50m付近よりシルトとの互層である	
16										
17	-17.12	2.55	17.05							
18	-18.27	1.15	18.20		シルト混じり細砂	暗灰	緩い		含水量やや多い 粒子不均一である 腐植土を不規則に混入する 雲母片を少量混入する 17.70m付近より有機質シルトと細砂の互層となる	
19					有機質シルト	暗茶		中位～硬い	粘性中位 不均質である 細砂をシーム状～帯状に所々混入する 20.00m付近より上部に比べてやや繊維質となる	
20										
21	-21.17	2.90	21.10							
22					シルト混じり細砂	暗青灰	中位の		含水量中位 粒子不均一である 雲母片を少量混入する 有機質シルトを不規則に混入する	
23										
24	-24.17	3.00	24.10							
	-24.67	0.50	24.60		砂混じりシルト	暗茶		非常に軟かい	細砂、有機質シルトの互層である	
25					細砂	暗褐	中位の～非常に密な		含水量中位 粒子不均一である 固結シルトを5～10cm内外の厚さで挟む 貝殻片を少量混入する	
26										
27										
28									28.00m付近より貝殻片の混入が無くなり上部に比べて微粒となる	
29										
30	-30.37	5.70	30.30							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15	1	1	1	3/30
1.45 2.15	1	1	3	5/30
2.45 3.15	1	1/7	1/13	3/30
3.45 4.15	2	2	3	7/30
4.45 5.15	1/20	1/15		2/35
5.50 6.15	1/20	1/18		2/38
6.53 7.15	1	1	1	3/30
7.45 8.15	1/12	1/12	1/12	3/36
8.51 9.15	2	1	2	5/30
9.45 10.15	3	7	5	15/30
10.45 11.15	2	2	3	7/30
11.45 12.15	2	1	2	5/30
12.45 13.15	3	3	4	10/30
13.45 14.15	2	2	2	6/30
14.45 15.15	2	1	3	6/30
15.45 16.15	2	2	2	6/30
16.45 17.15	1	2	2	5/30
17.45 18.15	3	3	3	9/30
18.45 19.15	2	2	3	7/30
19.45 20.15	2	3	3	8/30
20.45 21.15	4	9	11	24/30
21.45 22.15	3	4	6	13/30
22.45 23.15	4	4	4	12/30
23.45 24.15	1/35			1/35
24.50 25.15	20	16	14/5	50/25
25.40 26.15	18	21	11/2	50/22
26.37 27.15	4	7	12	23/30
27.45 28.15	22	28/8		50/18
28.33 29.15	24	26/5		50/15
29.30 30.15	30	20/5		50/15
30.30				



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.00	孔内水平載荷試験 E=2126kN/m2

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）
1.15	I01P	⊖	細粒
1.45 2.15	I02P	⊖	細粒
2.45 3.15	I03P	⊖	細粒
3.45 4.15	I04P	⊖	細粒
4.45 5.15	I05P	⊖	細粒
5.50 6.15	I06P	⊖	細粒
6.53 7.00	I07D	Ⓓ	物理 一軸 三軸 圧密
7.80 8.15	I08P	⊖	細粒
8.51 9.15	I09P	⊖	細粒
9.45 10.15	I10P	⊖	細粒
10.45 11.15	I11P	⊖	細粒
11.45 12.15	I12P	⊖	細粒
12.45 13.15	I13P	⊖	細粒
13.45 14.15	I14P	⊖	細粒
14.45 15.00	I15D	Ⓓ	物理 一軸 三軸 圧密
15.90 16.15	I16P	⊖	細粒
16.45 17.15	I17P	⊖	物理
17.45 18.15	I18P	⊖	細粒
18.45 19.15	I19P	⊖	細粒
19.45 20.15	I20P	⊖	細粒
20.45 21.15	I21P	⊖	細粒
21.45 22.15	I22P	⊖	細粒
22.45 23.15	I23P	⊖	細粒
23.45 24.15	I24P	⊖	細粒
24.50			

掘進月日

5/18

5/21

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立泉谷中学校他1校エレベータ設置地質調査業務委託

ボーリング№

事業・工事名

シート№

ボーリング名	第二養護学校 No.1	調査位置	千葉市稲毛区轟町3丁目6番25号			北緯	35° 37' 53.2"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 19年 5月 24日 ～ 19年 5月 29日	東経	140° 6' 34.8"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.10m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 YBM 05DA2	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	32.43m								エンジン YANMAR NF9	ポンプ KANO V6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	-1.70	1.60	1.60		埋土	暗茶			0.00～0.05mアスファルト 0.05～0.10m砕石 0.10m以深ローム主体に構成される岩片（玉石状）を混入する 人工物（砕石、針金、ガラス片）を混入する	
	-4.80	3.10	4.70		ローム	茶褐		非常に軟らかい	粘性中位 不均質である 全体にやや多孔質である スコリアを少量混入する 3.00m付近より粘性増加する	
	-5.70	0.90	5.60		粘土質細砂	茶褐	非常に緩い		含水量中位 粒子不均一である 全体にやや粘性帯びる	
	-8.40	2.70	8.30		粘土混じり細砂	茶褐灰	緩い～中位の		含水量中位 粒子不均一である 黄褐色の凝灰質粘土を不規則及び10cm内外の帯状に混入する 炭化物を混入する 7.90～8.30m砂質粘土を挟む	5/28 6.80
	-9.00	0.60	8.90		細砂	茶褐	中位の		含水量少ない 粒子不均一である	
	-26.90	17.90	26.80		細砂	褐灰	中位の～非常に密な		含水量少ない 粒子不均一である 炭化物を微量混入する 13.00m付近より上部に比べて微粒砂となる 含水量中位 雲母片混入する 16.70m付近より所々小礫が微量点在し上部に比べて粗粒砂となる	
	-28.00	1.10	27.90		貝殻混じり細砂	褐灰	密な		含水量中位 粒子不均一である 細粒土を不規則に混入する 貝殻片（微片～細片状）を不規則に混入する	
	-29.60	1.60	29.50		有機質シルト	暗茶褐		硬い	粘性弱い 硬質である 浮石を不規則及び帯状に混入する	
	-30.40	0.80	30.30		細砂	淡青灰	中位の		含水量中位 粒子不均一である 浮石を微量混入する	
	-32.53	2.13	32.43		細砂	褐灰	非常に密な～密な		含水量中位 粒子不均一である 雲母片を混入する	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 2.15	1/20	1/15		2/35	2
2.50 3.15	1/30			1/30	1
3.45 4.15	1/20	1		2/30	2
4.45 5.15	1	1	1	3/30	3
5.45 6.15	1	1	2	4/30	4
6.45 7.15	2	2	3	7/30	7
7.45 8.15	2	6	13	21/30	21
8.45 9.15	5	7	8	20/30	20
9.45 10.15	5	7	7	19/30	19
10.45 11.15	5	7	7	19/30	19
11.45 12.15	5	6	6	17/30	17
12.45 13.15	6	7	8	21/30	21
13.45 14.15	7	6	7	20/30	20
14.45 15.15	9	10	14	33/30	33
15.45 16.15	7	7	8	22/30	22
16.45 17.15	9	13	16	38/30	38
17.45 18.15	9	10	12	31/30	31
18.45 19.15	11	17	17	45/30	45
19.45 20.15	9	12	15	36/30	36
20.45 21.15	5	6	10	21/30	21
21.45 22.15	7	7	8	22/30	22
22.45 23.15	13	18	19	50/30	50
23.45 24.15	8	12	25	45/30	45
24.45 25.15	15	25	10/2	50/22	68
25.37 26.15	22	28/8		50/18	83
26.33 27.15	12	14	18	44/30	44
27.45 29.15	3	4	5	12/30	12
29.45 30.15	7	8	15	30/30	30
30.45 31.15	12	17	19	48/30	48
31.45 32.15	20	15	15/8	50/28	54
32.43					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.00	孔内水平載荷試験 E=832kN/m2

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.15	Y01P	⊖	細粒	
1.45 2.15	Y02P	⊖	細粒	
2.50 3.00	Y03T	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密	
3.70 4.15	Y04P	⊖	細粒	
4.45 5.15	Y05P	⊖	細粒	
5.45 6.15	Y06P	⊖	細粒	
6.45 7.15	Y07P	⊖	細粒	
7.45 8.15	Y08P	⊖	細粒	
8.45 9.15	Y09P	⊖	細粒	
9.45 10.15	Y10P	⊖	細粒	
10.45 11.15	Y11P	⊖	細粒	
11.45 12.15	Y12P	⊖	物理	5/24
12.45				
21.15	Y13P	⊖	細粒	
21.45 22.15	Y14P	⊖	細粒	
22.45 23.15	Y15P	⊖	細粒	
23.45 24.15	Y16P	⊖	細粒	
24.45 25.15	Y17P	⊖	細粒	5/28
25.37 26.15	Y18P	⊖	細粒	
26.33 27.15	Y19P	⊖	細粒	
27.45 28.00				
28.90	Y20D	Ⓓ	物理 一軸 三軸	
29.15	Y21P	⊖	細粒	
29.45 30.15	Y22P	⊖	細粒	
30.45				5/29